

# 令和2年度 伊那市立東部中学校 グランドデザイン

## 学校教育目標

- (1) 真剣にねばり強く学習する生徒
- (2) 広く豊かな心を持つ生徒
- (3) 勤労を尊び、仕事に打ち込む生徒

## めざす子どもの姿

- すず竹** すず竹のごとくねばり強く  
自分で考え、学習や勤労に自ら取り組む
- 学舎に魂合わせ** ともに認め合い・助け合い、  
お互いを尊重し合える生徒

## 本年度の重点目標 東部中 Pride

「東部中のもつ活気と躍動感」をつなげる心意気。  
「東部中らしさ・東部中として」と誇れる思い。

### 自主・自立

- 「自分で考え」「自分が決め」「自ら動く」
- あらゆる場面で自分が決める機会を
- 授業で育てたい主体性・自主・自立の力

### 多様な学び～生き方へ～

- 「違うからこそ学び合う」「違いを認め合う広さ深さ」
- 「独りになる」とことと「誰も一人にしない」こと。
- 授業で一人一人の学びを保証

## 学校長の願い

活気と躍動感あふれる東部中学校を目指し、主体的に自ら考え行動できる生徒に育てたい。  
お互いを大切にできる広さと深さをもつ心を育てていきたい。

## 生徒会活動の目標

- 「学校生活」の向上と充実を図る。
- 学年間をこえた活動に、自主的に取り組み、一人一人が所属感、達成感を味わう。
- 「さくらプロジェクト」：仙台市立高砂中学校と互いの良さを学び合い、両校の絆を深める。

## 子どもを真ん中にして

### 活気ある学校

- 生徒の自主性を育て、成就感が得られる生徒会行事  
「すず竹祭（合唱コンクール）」「祖父母に感謝する会」
- 友のよさや互いにに関わり合う喜びを味わう学年行事の創造
- 全職員による個々の生徒に寄り添ったチーム支援
- 「Student First」の精神に基づく自主・自立する部活動

### 問いのある授業

- 全校研究テーマ「**学び合いのある学習**」  
～一人一人を生かす授業の創造～
- 生徒一人一人の思いや考え、学びの道筋を捉え、その生徒らしさを生かす学習活動を展開する。そのために「観る」「聴く」「伝える」の3視点を重視した授業を構想するとともに、生徒の姿を通して、この3視点で教師自身が授業を振り返る。このプロセスの中で仲間、家族、地域とつながる生徒を育てていく。

### ひらかれた学校

- 信州型CSによる学校、家庭、地域が一体となった活動の充実（読み聞かせ活動・食育・キャリア教育・PTA活動支援・部活動支援・学習支援など）
- 安心安全な学校生活を支える教育環境推進協議会（すず竹いのわ会）
- 子ども相談室、SSW、中間教室等との連携
- 学区内小学校5校との情報交換や協議（小中連携会議「夢をつなぐ」）

#### 【1】主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- ねらう資質・能力を基にした学習問題の設定
- 対話的に学ぶための個人、ペア、グループなど学習形態の効果的な活用
- 考えの視覚化を図るためのICT機器やホワイトボードの活用
- 自他の追究の良さや学びの自覚化につながる「振り返り活動」の設定

#### 【2】学習内容の定着、学力伸長のための取組

- 生徒の手による学びの足跡の掲示
- 自学タイム(木・金の朝)の設定と自学タイムでのクリ・チャレ問題等の活用
- 個別の課題克服や学習相談に応じる「ひたすらタイム(定期テスト前)」の設定
- 知識・理解だけでなく、思考プロセスを評価するためのテスト改善
- 全国学調、NRT等の結果分析を基にしたPDCAサイクルの構築
- 学校ボランティアによる学力向上支援事業(放課後補習授業)

### 伊那東部中学校 「学び合い」 style



#### 【3】家庭学習を充実させるための取組

- 基礎・基本の定着を図るための提出ノート
- 探究力や自分の言葉や図でまとめる力を育む自学ノート
- 家庭学習に関わるガイダンスと家庭学習の適切な評価による意欲向上

#### 【4】多様な学びの場をつくりだす取組

- 相談室や通級指導教室、日本語教室等、その子に応じた学習環境の整備
- 個々の学習をサポートし伸ばす力をさらに高めるICT機器活用

#### 【5】授業づくりを楽しむ取組 8つのグループで取り組む授業改善

- 相互参観等の日常的な授業公開と教師の学び合いによる授業力向上
- グループ内で教材の工夫や授業構想を交流し合い授業の力を高め合う
- 生徒主体の授業づくりを考え合う教科の枠を越えた授業研究会
- 「分かりやすい授業」づくりのための生徒による授業評価(1,2学期)

## 信頼され、安心して安全な学校づくりのための取組

### 職員研修

- ・職員会議での研修会
- ・教師としての資質向上研修
- ・事例に学ぶ非違行為防止研修

### 学校評価

- ・匿名性を担保した評価
- ・1学期末、2学期末に実施
- ・生徒による授業評価の実施

### 情報発信

- ・学級、学年通信の発行
- ・学校ホームページの充実
- ・個人情報の適切な取扱

### 業務改善

- ・子どもと向き合う時間の確保
- ・授業準備、教材研究の充実
- ・スクールサポートスタッフによる支援